

第1章 計画策定の趣旨

近年の急速な人口の高齢化や生活習慣の変化により、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。

こうした疾病構造の変化に対応し、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするために、国では、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定し、国民が一体となった健康づくり運動を総合的かつ効果的に推進しています。

岡山県においても、平成13年3月に「健康おかやま21」を策定するとともに、平成17年度には計画の中間評価と見直しを行い、平成18年度から「健康おかやま21 セカンドステージ」を推進しています。また平成20年3月には、メタボリックシンドローム対策や心の健康づくり対策・がん対策などを踏まえ、「健康おかやま21 セカンドステージ（追加・増補版）」を策定しました。

旧総社市、旧山手村、旧清音村は平成15年度に「健康日本21 地方計画」を策定し、住民の健康づくりを推進してきました。

平成17年3月22日、3市村の合併に伴い「健康総社21～いきいき吉備路プラン～」を中心とした健康づくり運動を推進し、全ての住民が健やかに、安心して生活することができる健康福祉のまちづくりの実現をめざしています。

第2章 計画の期間

本計画の計画期間は、平成16年度（2004年度）～平成25年度（2013年度）とし、平成20年度（2008年度）に取り組み状況进行评估し、必要な見直しを行うものとされています。